

# 唯一無二の出島を もっと盛り上げる

長崎市出島復元整備室長

## 馬見塚純治



ストーリーを  
語れる企画と  
民間の力をドッキング

近年とみに存在感を増しています  
が、その現場監督ともいえる長崎  
市出島復元整備室長の馬見塚純治  
さんは、長崎大学経済学部卒の卒業  
生です。

「あの架橋イベントは大変話題  
になりましたね。橋を設計した若  
手設計者チームのアイデアです。  
これまで出島では市民参加型の試  
みを重ねていたので、すんなり実  
現できました」。

確かにここ数年、出島に行けば何  
か面白いことをやっているというイ  
メージが出来上がりがつあります。  
「私が二〇一〇年に、出島復元整  
備室に来た時、出島はまだ第二期  
復元工事を終えたばかりで、行事は  
少なく展示が中心でした。しかし、

それだけでは先々入場者数の減少  
が予想されました。そうなれば収  
益が下がり、その後の復元事業が  
進めにくくなります。事業を進め  
るために運営をしっかりとやらなけ  
ればいけないもの、お金と人手  
はありません。そこで考えたのが、  
市民の力で出島を活性化する独立  
採算制のシステムです。例えば、  
NPOによるレストラン運営や、  
ものづくりマーケット開催などで、  
少しずつ盛り上がっていきまし  
た。

もつとも、何でもOKというので  
はなく、出島やオランダに関係す  
るストーリーを語れるものにこだ  
わっています。長崎名物の「ちり  
んちりんあいす」も、出島が伝来  
の地であるチョコレート味を限定

観光客から要人まで外国人が来ま  
すから、世界経済の視点から出島  
や長崎の役割を説明すると、皆さ  
ん理解を深めてくれます」。

英語はそもそも得意だったんで  
すか？  
「ビートルズ世代ですから、英

発売、という具合です」。

実際に入場者数は伸びているの  
ですか？

「はい、おかげさまで伸びてい  
ます。特に橋が架かって以降、好  
調ですね。長崎市全体の観光も、  
世界遺産や世界三大夜景の一つに  
選ばれるなどの好材料が続いてい  
ることもあって、入場者数は上り  
調子です」。

### 大学時代のアルバイトで 培われた現場感覚

出島復元整備室は長崎市役所の  
一部局です。つまり馬見塚さんは  
市の職員なのですが、その企画力

いたということでしょう。大学で  
学んだ世界経済は、今の仕事に非  
常に役立っています。江戸時代、  
オランダ人は日本で仕入れた銅を  
元手に東南アジアで中継ぎ貿易を  
展開しており、その要が出島だっ  
たわけです。復元が進む出島にも

観光客から要人まで外国人が来ま  
すから、世界経済の視点から出島  
や長崎の役割を説明すると、皆さ  
ん理解を深めてくれます」。

語に対しては憧れが強かったの  
ですが、真面目に取り組むよう  
になったのは観光課長になってから  
です。外国からのクルーズ船が来  
ると市長の代読で歓迎の挨拶を述  
べるのですが、最初は棒読みでも、  
繰り返すうちに度胸がついてきま

した。今は通勤途中のバスの中で、  
スマートフォンでBBCニュース  
を聞くようにしています。外国語  
を習得するには、慣れと場数。そ  
れを鍛える場所として、今の学生  
さんには出島をお勧めしますよ。  
経済学部なら経済について、医学  
部ならシーボルトの西洋医学につ  
いてなど、話しかけて得意分野を  
説明できれば話が弾みます。英  
語だけでなく中国語や韓国語など、  
外国語を学ぶフィールドとして  
もってこいです」。

現在の復元事業の事業コンセプト  
は「つながる出島」。対岸と対  
岸が橋でつながるだけではなく、  
過去から未来へと時間がつながる、  
長崎とインドネシア、ヨーロッパ  
など空間がつながるといった出島  
への思いが込められています。か  
つてオランダ商館が築いた歴史を  
持つ都市とのヘリテージネット  
ワークを構築するなど、世界を見  
据えた展開も始まりました。

長崎の個性の源ともいえる唯一  
無二の場所、出島。その可能性は  
広がりつつあり、これからも馬見塚  
さんのフル稼働の日々は続きます。



まみつかじゅんじ  
福岡県大牟田出身。  
長崎大学経済学部卒  
業後、1986年長崎市  
役所入庁。教育委員  
会、財政課、介護保険  
課、さるく博事務局、さ  
るく観光課長を経て出  
島復元整備室長。